

オオイタシロギセルガイ

Neophaedusa masatokandai masatokandai

キセルガイ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 I



大分県南部と宮崎県北部の石灰岩地域だけに分布する特産種。三重町の白谷で発見された。石灰岩の礫の間や落葉の下などに生息する。殻の高さは13.5mm、径は3mmほどあり、乳白色をしている。この貝の仲間はキセルに似ていることからキセルガイと呼ばれる。殻の形や殻口近くの内面にあるひだの様子で、他の種類と区別される。林道の開設やスギ植林などにより生息環境が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真：増田 修 文：神田正人)

県内分布 三重町，宇目町

分布域 九州（大分・宮崎）